

臨床医学4 第9回

7-45 水頭症の症状について、次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

水頭症は、(1)に多量の髄液が貯留し、(2)が異常に拡大した病態である。乳幼児水頭症は(3)と(4)に分けられる。

語群

- a. 交通性水頭症 b. 髄液腔 c. 頭蓋内髄液腔 d. 非交通性水頭症

7-46 水頭症の症状について、次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

交通性水頭症は、(1)と(2)の経路に閉鎖がなく、髄液の(3)または(4)に起因して発生する。原因は(5)、(6)など。非交通性水頭症は、(1)または(7)の閉塞により脳室内に(8)が貯留する病態。原因は脳室内の(9)などである。

語群

- a. クモ膜下腔 b. クモ膜下出血 c. 髄液 d. 産生過剰

7-49 問 49 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

麦粒腫は、眼臓の(1)で、分泌腺に常在菌の(2)が感染して化膿したものである。ツァイス腺やモル腺にできたものを(3)、眼瞼結膜面にできたものを(4)という。症状は、眼瞼に発赤を伴う(5)があり、(6)と(7)を訴える。治療は全身的に(8)を投与し、局所的には(9)、(10)を用いる。

語群

- a. 圧痛 b. 黄色ブドウ球菌 c. 抗菌薬 d. 急性化膿性炎症
e. 限局的膨張 f. 外麦粒腫 g. 自発痛 h. 点眼薬 i. 内麦粒腫
j. 軟膏塗布

7-50 結膜炎について、次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

結膜は、(1)と(2)を結びつける粘膜である。眼瞼の裏側の(3)と眼球前面の(4)に分かれ、その移行部を(5)という。その結膜でおこる(6)が結膜炎である。日常よくみられる疾患で、(7)と(8)を主症状とする。

語群

- a. 円蓋部結膜 b. 眼脂 c. 眼球 d. 眼球結膜 e. 炎症 f. 眼瞼
g. 眼瞼結膜 h. 充血

7-53 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

通年性アレルギー結膜炎の原因は、(1)、(2)、(3)、(4)である。症状は、急性の(5)、(6)、(7)、(8)をきたし(9)がある。治療は、軽症例は(10)点眼を行い、重症な場合は(11)点眼を併用する。

語群

- a. イヌやネコの毛 b. 結膜の浮腫 c. ステロイド薬 d. ダニ e. 掻痒感
f. 眼瞼腫脹 g. 流涙 h. 抗アレルギー薬 i. 充血 j. ハウスダスト
k. カビ

7-55 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

網膜剥離はその発症機序から滲出性、牽引性などの(1)と(2)のものに大別される。滲出性網膜剥離は、原田病などの(3)の炎症、(4)など他の疾患が原因となって(5)が(6)に貯留して剥離をおこす。牽引性網膜剥離は(7)などによる(8)の増殖組織が網膜を牽引し剥離させる。

語群

- a. 硝子体内 b. 神経網膜下 c. 糖尿病性網膜症 d. 非裂孔原性
e. 脈絡膜 f. 網膜腫瘍 g. 裂孔原性 h. 滲出液

7-58 裂孔原性網膜剥離の治療について、次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

網膜裂孔の閉鎖として、(1)、(2)、(3)などや、強膜側からの穿刺による(4)の(5)。

語群

- a. レーザー b. 冷凍凝固 c. 除去 d. 貯留網膜下液 e. 高周波電流

7-60 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

原発開放隅角緑内障は、隅角には異常がなく、主に(1)にある線維柱帯の(2)の異常によっておこる。大部分の症例では、(3)以上にわたって(4)が続いた後、(5)が進行する。初期では無症状で、(6)、(7)がある程度であるが、進行するにしたがい(8)が(9)なる。

語群

- a. 5～10年 b. シュルム管周辺組織 c. 眼精疲労 d. 狭く
e. 隅角奥 f. 高眼圧 g. 視野 h. 頭重 i. 緑内障性視神経委縮

7-62 問 62 次の()内にあてはまる語句綿群より選び・記号で答えなさい。

原発閉塞隅角緑内障は、(1)により虹彩の(2)がなくなったり、水晶体が(3)すると、房水は前房へ流れにくくなり、流出できなくなる。その結果、(4)の(5)をきたす病態である。原発閉塞隅角緑内障には、(6)と(7)がある。

語群

- a. 眼圧 b. 急性 c. 上昇 d. 弾力 e. 膨化 f. 慢性 g. 老化現象

7-64 原発閉塞隅角緑内障について、次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

慢性の場合は、(1)の閉塞が徐々に広がり、眼圧の上昇も(2)に進行する。(3)、(4)、(5)などを訴える。急性の場合は、眼圧が(6)し、(7)、(8)、(9)、(10)を訴える。瞳孔は散大し、前房は浅く、結膜充血も著明である。このことを(11)という。

語群

- a. 悪心 b. 緩徐 c. 眼精疲労 d. 急性緑内障発作 e. 強い眼痛
f. 隅角 g. 視野狭窄 h. 頭重 i. 頭痛 j. 突然上昇 k. 嘔吐

7-68 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

後部硝子体剥離とは、加齢によって硝子体の(1)が進行すると、硝子体ゲルの(2)に伴い、硝子体後面が(3)から剥離し、硝子体が(4)に移動することである。この経過の中で著明な(5)を自覚することが多い。

語群

- a. 液化 b. 前方 c. 収縮 d. 飛蚊症 e. 網膜

7-70 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

視覚の神経路は網膜の(1)に始まり、その神経線維が(2)に集まって強膜の(3)を通り抜け、(4)を経て(5)に入り、そこで(6)を換え後頭葉の(7)に至る。眼球から視交叉にいたるまでを(8)、視交叉から外側膝状体までを(9)、そこから視覚中枢までを(10)という。

語群

- a. ニューロン b. 外側膝状体 c. 視覚中枢 d. 視交差 e. 視索
f. 視神経 g. 視放線 h. 神経節細胞 i. 乳頭 j. 篩状板

7-73 次の() 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

多発性硬化症の場合は、初期症状として(1)が現れることが多く、(2)、(3)を繰り返しながら視力が衰えていく。同時に身体の他の(4)にも(5)がおこり、さまざまな神経症状が現れる。

語群

- a. 再発 b. 視神経炎 c. 寛解 d. 神経 e. 脱髄

7-74 次の() 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

斜視とは左右眼の(1)が同じ(2)に向かない(3)の異常である。眼位異常には(4)もあるが、普通、斜視といえば眼球運動はほぼ正常な(5)をいう。

語群

- a. 眼位 b. 共同斜視 c. 固有点 d. 視軸 e. 麻痺性斜視

7-81 急性化膿性中耳炎について次の() 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

(1)経由の細菌感染による中耳の急性炎症で、通常、(2)に続発あるいは併発する。鼓膜に(3)がなければ外耳道からの感染はしない。上気道感染が多い(4)に多発し、(5)に好発する。起因菌としては、(6)、(7)などが多いが、最近は(8)の増加が問題になっている。

語群

- a. 幼小児 b. ペニシリン耐性肺炎球菌 c. 冬季 d. 耳管
e. 肺炎球菌 f. 穿孔 g. インフルエンザ菌 h. 上気道感染

7-88 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

真珠腫組織は周囲の骨を(1)しながら(2)し、種々の(3)を招く。発生頻度は(4)真珠腫が多く、(5)や(6)が陥凹して内部に真珠腫組織が発生する。真珠腫は(7)または(8)から生じ、しばしば(9)を形成する。(10)と(11)の二種類がある。

語群

- a. 偽性 b. 鼓室後部 c. 鼓膜弛緩部 d. 後天性一次性 e. 合併症
f. 真性 g. 組織奇形 h. 増大 i. 嚢胞 j. 破壊 h. 慢性炎症

7-90 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

伝音難聴とは、(1)、(2)の伝音系障害により生ずる難聴である。(3)、(4)、(5)の3つの耳小骨は中耳伝音系である。(6)、(7)は正常なので、音を大きく入れてやれば(8)は正常である。

語群

- a. アブミ骨 b. キヌタ骨 c. 中枢 d. ツチ骨 e. 外耳 f. 受聴明瞭度
g. 中耳 h. 内耳

7-92 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

内耳の骨迷路の中央に(1)という嚢状の腔所があり、膜迷路の(2)と(3)が入っている。(4)の障害によってめまいや平衡障害がおこる。めまいは(5)の障害によるものと(6)によるものに分けられる。

語群

- a. 球形嚢 b. 前庭 c. 前庭機能 d. 中枢神経障害 e. 内耳前庭部
f. 卵形嚢

7-93 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

メニエール病は、早期に適切な治療が行われると(1)するが、治療期間を逃すと病態が不可逆性となり、長期にわたりめまいや(2)に苦しむ。めまいは(3)めまいである。難聴は、発作時に(4)の損失が特徴的で、発作を繰り返すと不可逆性となり、(5)に損失がおよび、ついには(6)となる。

語群

- a. 低音域 b. 回転性発作性 c. 高度難聴 d. 難聴
- e. 低音域全体 f. 完治

7-94 メニエール病の治療について、次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

保存療法の発作時には、(1)、(2)、(3)など速効性のある注射薬を投与。間欠期は、内リンパ水腫の軽減を目的とした(4)の投与、聴力の急激な低下に対する(5)の投与など。難治例に対しては外科的治療が適応となる。(6)、(7)、(8)などが症例に応じて選択される。

語群

- a. 7%重曹水 b. ステロイド剤 c. 鎮静剤 d. 抗めまい剤、
- e. 高浸透圧利尿剤 f. 前庭神経裁断術 g. 内リンパ嚢開放術
- h. 迷路破壊術